

## 第4章 住民意向調査の結果概要

### 4-1 住民意向調査の結果概要

本マスタープラン策定にあたっては、住民の意向を十分に反映した計画づくりを行うために、平成27年度に、以下のとおり住民アンケートを実施しています。

#### 1. アンケートの概要

##### (1) 調査の目的

魚津市では、都市マスタープラン（平成18年）の策定から約10年が経過し、その間、国では地方創生に取り組むほか、都市計画法や都市計画運用指針の改正などに取り組んでおり、また、富山県では平成25年3月に、都市計画の基本的な方向性を示す“魚津都市計画区域マスタープラン”の見直しを行うなど、都市計画に関わる政策が大きく変化しています。

他方、人口減少、少子高齢化、防災・環境問題などの社会情勢の変化や、土地利用、道路交通体系などの都市構造の変化とともに、まちづくりに対する住民ニーズも多様化しています。

以上のような背景を踏まえながら、住民の意向を十分に把握することで、今後の魚津市における都市の具体的な将来ビジョンを検討する重要な指標とするために行うものです。

##### (2) 調査方法

18歳以上の魚津市在住者の中から3,000人を男女別・地区別人口割合・年代別人口割合により無作為に抽出し、郵送により配布、回収をしています。

##### (3) 調査期間

平成27年10月14日から平成27年11月6日  
当日消印有効

##### (4) 回収件数、回収率

配布件数	回収件数	回収率
3,000件	1,522件	50.7%

## 2. アンケート調査の概要

### (1) 回答者の属性

#### 問1 あなたの性別

性別は、「男性」が43.8%、「女性」が52.9%、「無回答」が3.3%と、女性がわずかに多くなっています。

No	回答	回答数	回答割合
1	男性	666	43.8%
2	女性	805	52.9%
	無回答	51	3.3%
	回答者数	1,522	100%

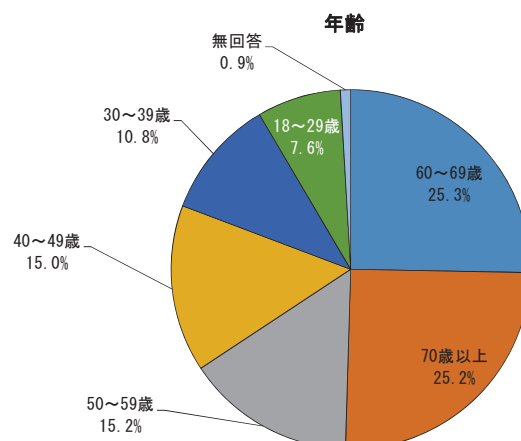
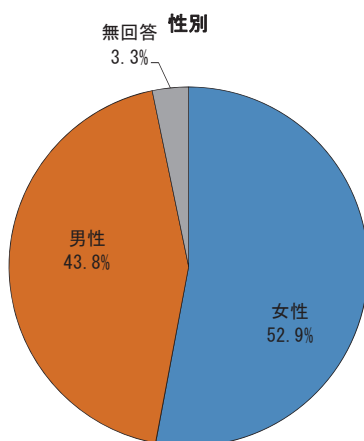
#### 問2 あなたの年齢

年齢は、「60～69歳」が25.3%と最も多く、次いで「70歳以上」が25.2%、「50～59歳」が15.2%と続いており、**50歳以上が6割以上**を占めて多くなっています。

No	回答	回答数	回答割合
1	18～29歳	115	7.6%
2	30～39歳	164	10.8%
3	40～49歳	229	15.0%
4	50～59歳	232	15.2%
5	60～69歳	385	25.3%
6	70歳以上	383	25.2%
	無回答	14	0.9%
	回答者数	1,522	100%

#### 〔参考〕年代別配布数・回収率

回収率	配布数
29.3%	393
39.9%	411
42.6%	537
54.8%	423
65.3%	590
59.3%	646
-	-
50.7%	3,000



問3 あなたの家族構成

家族構成は、「二世代からなる世帯（子どもと同居）」が33.2%と最も多く、次いで「夫婦だけの世帯」が21.9%、「二世代からなる世帯（親と同居）」が18.7%と続きます。  
 「二世代」や「夫婦だけの世帯」が多く、**核家族化、小世帯化の傾向**がうかがえます。

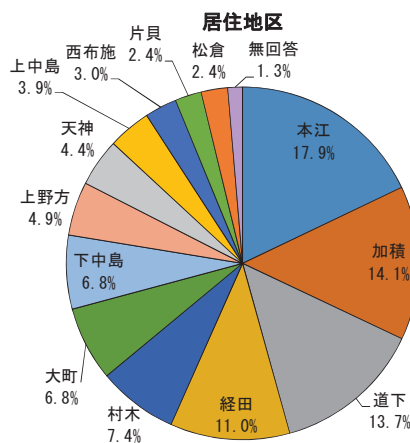
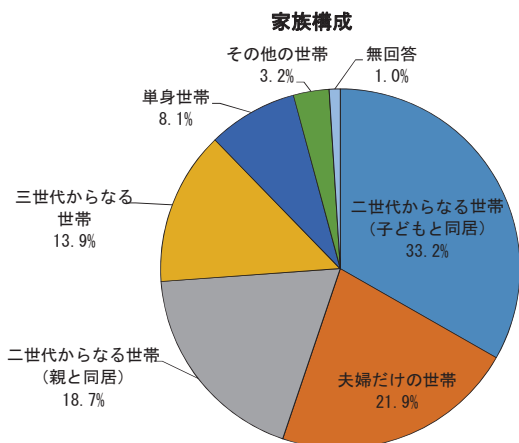
No	回答	回答数	回答割合
1	単身世帯	123	8.1%
2	夫婦だけの世帯	334	21.9%
3	二世代からなる世帯（子どもと同居）	506	33.2%
4	二世代からなる世帯（親と同居）	284	18.7%
5	三世代からなる世帯	211	13.9%
6	その他の世帯	49	3.2%
無回答		15	1.0%
回答者数		1,522	100%

問4 あなたの居住地区

居住地区は、「本江」が17.9%と最も多く、次いで「加積」が14.1%、「道下」が13.7%と続きます。

〔参考〕地区別配布数・回収率

No	回答	回答数	回答割合	回収率	配布数
1	大町	104	6.8%	52.5%	198
2	村木	112	7.4%	53.3%	210
3	下中島	103	6.8%	50.2%	205
4	上中島	60	3.9%	57.1%	105
5	松倉	37	2.4%	48.1%	77
6	上野方	75	4.9%	46.0%	163
7	本江	273	17.9%	53.2%	513
8	片貝	37	2.4%	46.3%	80
9	加積	215	14.1%	49.3%	436
10	道下	208	13.7%	49.8%	418
11	経田	167	11.0%	49.7%	336
12	天神	67	4.4%	40.1%	167
13	西布施	45	3.0%	48.9%	92
無回答		19	1.3%	-	-
回答者数		1,522	100%	50.7%	3,000



問5 あなたは現在の地区に住んで何年になりますか。

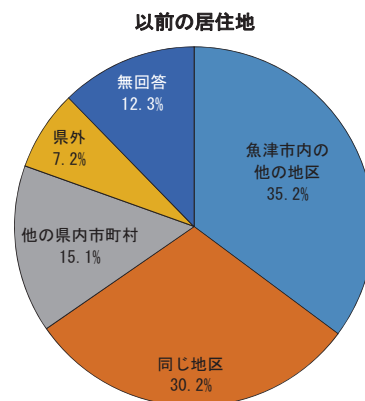
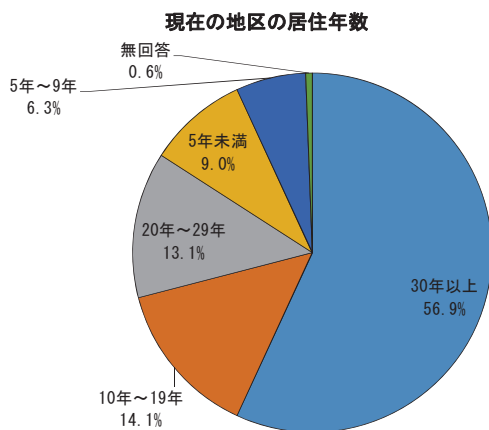
居住年数は、「30年以上」が56.9%と最も多く、次いで「10年～19年」が14.1%、「20年～29年」が13.1%と続いており、**7割が20年以上の長期居住者**です。

No	回答	回答数	回答割合
1	5年未満	137	9.0%
2	5年～9年	96	6.3%
3	10年～19年	214	14.1%
4	20年～29年	200	13.1%
5	30年以上	866	56.9%
無回答		9	0.6%
回答者数		1,522	100%

問5-2 現在の前の住まいはどちらでしたか

現在の前の住まいは、「魚津市内の他の地区」が35.2%と最も多く、次いで「同じ地区」が30.2%、「他の県内市町村」が15.1%と続きます。「魚津市内の他の地区」と「同じ地区」の合計で6割以上を占め、**大半が市内での移転**となっています。

No	回答	回答数	回答割合
1	同じ地区	460	30.2%
2	魚津市内の他の地区	536	35.2%
3	他の県内市町村	230	15.1%
4	県外	110	7.2%
無回答		186	12.3%
回答者数		1,522	100%



問6 あなたの主な職業

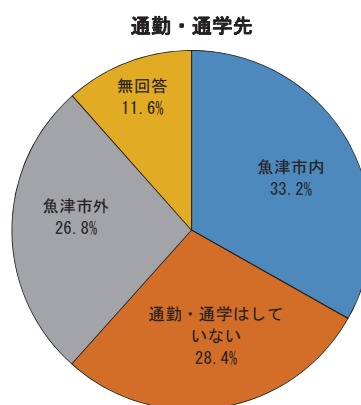
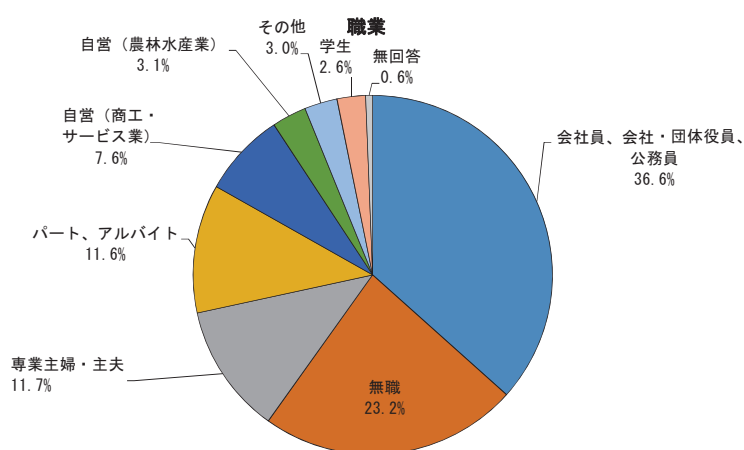
主な職業は、「会社員、会社・団体役員、公務員」が36.6%と最も多く、次いで「無職」が23.2%、「専業主婦・主夫」が11.7%と続いており、回答者の多くが高年齢であることが影響しているものと思われます。

No	回答	回答数	回答割合
1	自営（農林水産業）	47	3.1%
2	自営（商工・サービス業）	115	7.6%
3	会社員、会社・団体役員、公務員	558	36.6%
4	パート、アルバイト	176	11.6%
5	専業主婦・主夫	178	11.7%
6	学生	39	2.6%
7	無職	353	23.2%
8	その他	45	3.0%
無回答		11	0.6%
回答者数		1,522	100%

問7 あなたの通勤・通学先

通勤・通学先は、「魚津市内」が33.2%と最も多く、次いで「通勤・通学はしていない」が28.4%、「魚津市外」が26.8%と続きます。

No	回答	回答数	回答割合
1	魚津市内	505	33.2%
2	魚津市外	408	26.8%
3	通勤・通学はしていない	433	28.4%
無回答		176	11.6%
回答者数		1,522	100%



(2) 現在の生活環境について

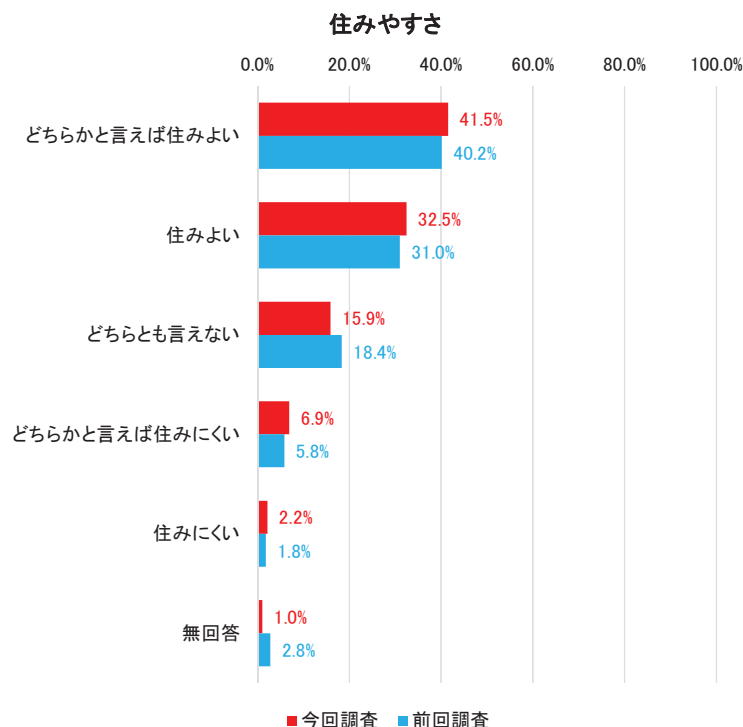
問8 あなたの住んでおられるところは住みよいところだと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

今回、前回調査ともに、「どちらかと言えば住みよい」が41.5%（前回 40.2%）と最も多く、今回は前回より 1.3 ポイント増加しています。次いで今回、前回ともに「住みよい」が32.5%（前回 31.0%）と多く、今回は前回より 1.5 ポイント増加しています。

住みよさ度（「住みよい」と「どちらかと言えば住みよい」の合計）では、今回、前回ともに 7 割を超えて高く、また、今回は前回よりもポイントが増加し、**住みよいと感じる回答者が増えています**。

住みよさ度について、年代別では 50 代で 7 割をやや下回り、それ以外の年代では 7 割を超えています。また、地区別では山間部の松倉で 5 割を下回り最も低く、本市の中心市街地から離れた上中島、西布施でも 6 割と低くなっており、**山間部や中心市街地から離れた地区の住みよさの改善**が求められます。

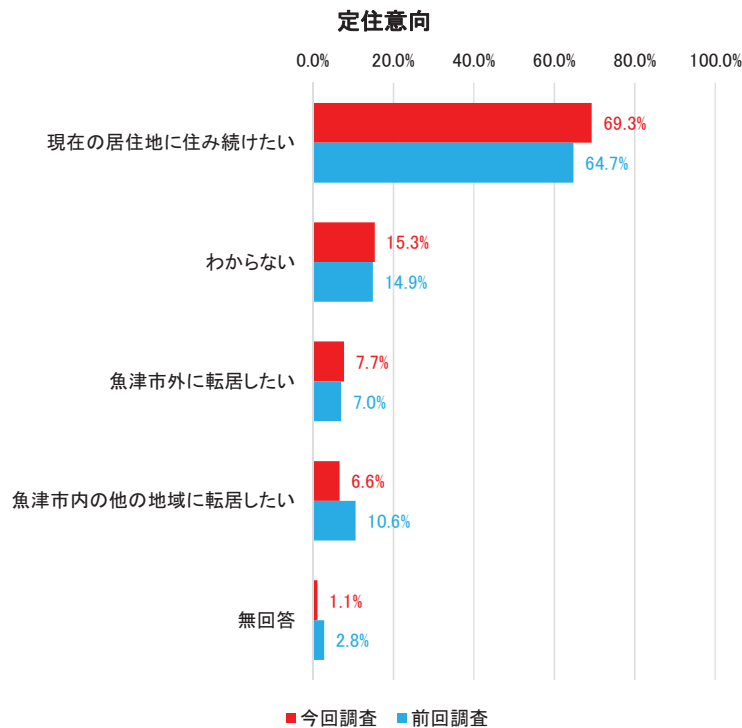
No	回答	回答数	回答割合
1	住みよい	494	32.5%
2	どちらかと言えば住みよい	632	41.5%
3	どちらとも言えない	242	15.9%
4	どちらかと言えば住みにくい	105	6.9%
5	住みにくい	33	2.2%
無回答		16	1.0%
回答者数		1,522	100%



問9 あなたはこれからも魚津市にずっと住みたいと思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

今回、前回調査ともに、「現在の居住地に住み続けたい」が69.3%（前回64.7%）と最も多く、今回は前回より4.6ポイント増加しています。  
 次いで今回、前回ともに「わからない」が15.3%（前回14.9%）と多く、今回は前回より0.4ポイント増加しています。  
 今回、前回調査ともに「現在の居住地に住み続けたい」が6割を超え、**定住意向は強く**、また、今回は前回よりもポイントが増加し、**住み続けたい回答者が増えています**。  
 しかし、年代別では、30代以下で「魚津市外に転居したい」や「わからない」との回答が比較的多く、**若者世代の定住意識を高める**ことが求められます。また、地区別では松倉、上中島で「魚津市内の他の地域に転居したい」、「魚津市外に転居したい」、との回答が比較的多くなっています。

No	回答	回答数	回答割合
1	現在の居住地に住み続けたい	1,054	69.3%
2	魚津市内の他の地域に転居したい	101	6.6%
3	魚津市外に転居したい	117	7.7%
4	わからない	233	15.3%
	無回答	17	1.1%
	回答者数	1,522	100%



問9-1 問9で1と答えた方におたずねします。住み続けたい理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

今回調査では、「永年住んでいて愛着がある」が69.7%と最も多く、次いで「買物などの日常生活の便がよい」が30.6%、「周辺の自然環境や景観がよい」が27.9%と続いています。前回調査も上位3位までは変わりませんが、今回では、「永年住んでいて愛着がある」、「周辺の自然環境や景観がよい」のポイントが増加し、「**買物などの日常生活の便がよい**」の**ポイントが減少**しています。

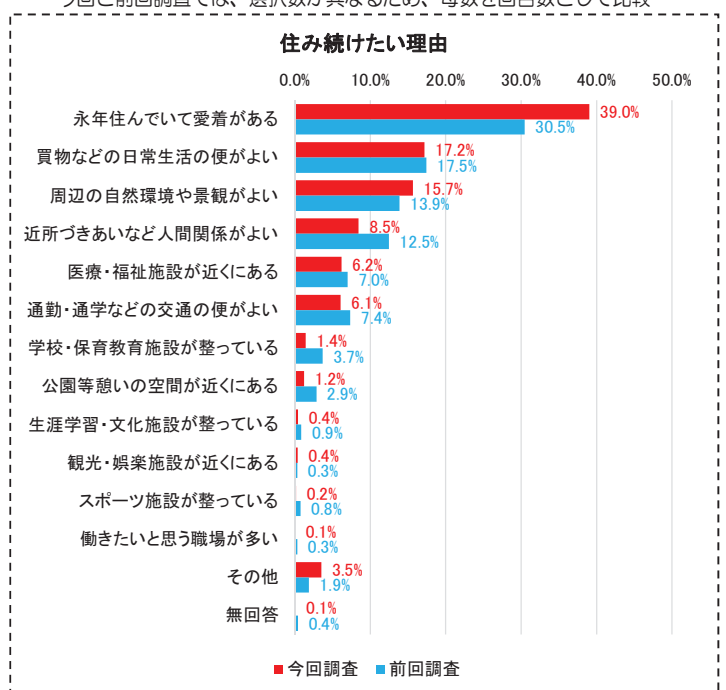
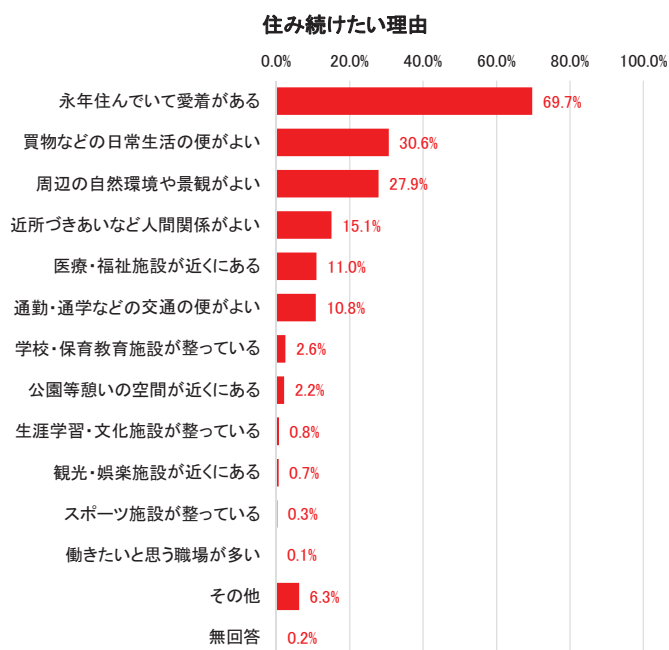
年代別では、理由を「通勤・通学などの交通の便がよい」とするのは40代以下で多く、60代以上で少ないことから、**高齢世代にも望ましい交通環境の向上**が求められます。

No	回答	回答数	回答割合
1	永年住んでいて愛着がある	735	69.7%
2	通勤・通学などの交通の便がよい	114	10.8%
3	周辺の自然環境や景観がよい	294	27.9%
4	公園等憩いの空間が近くにある	23	2.2%
5	医療・福祉施設が近くにある	116	11.0%
6	学校・保育教育施設が整っている	27	2.6%
7	生涯学習・文化施設が整っている	8	0.8%
8	スポーツ施設が整っている	3	0.3%
9	観光・娯楽施設が近くにある	7	0.7%
10	買物などの日常生活の便がよい	323	30.6%
11	働きたいと思う職場が多い	1	0.1%
12	近所づきあいなど人間関係がよい	159	15.1%
13	その他	66	6.3%
無回答		2	0.2%
回答者数		1,054	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。

【参考】 前回調査との比較

今回と前回調査では、選択数が異なるため、母数を回答数として比較





問9-2 問9で2、3と答えた方におたずねします。転居したい理由は何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

今回調査では、「買物などの日常生活の便が悪い」が34.4%と最も多く、次いで「現在の場所に対する愛着がない」が22.0%、「通勤・通学などの交通の便が悪い」が20.6%と続いています。（※「その他」を除く）

前回調査では、「現在の場所に対する愛着がない」が最上位であり、「買物などの日常生活の便が悪い」、「人間関係がわずらわしい」と続いていました。

また、今回調査では、前回より「買物などの日常生活の便が悪い」のポイントが増加し、「現在の場所に対する愛着がない」のポイントが減少しています。

転居したい理由の上位である「買物などの日常生活の便が悪い」、「現在の場所に対する愛着がない」は、住み続けたい理由と相反しており、前回調査でも上位回答の「**現在の場所に対する愛着がない**」、「**買物などの日常生活の便が悪い**」は**改善が必要**と考えられます。

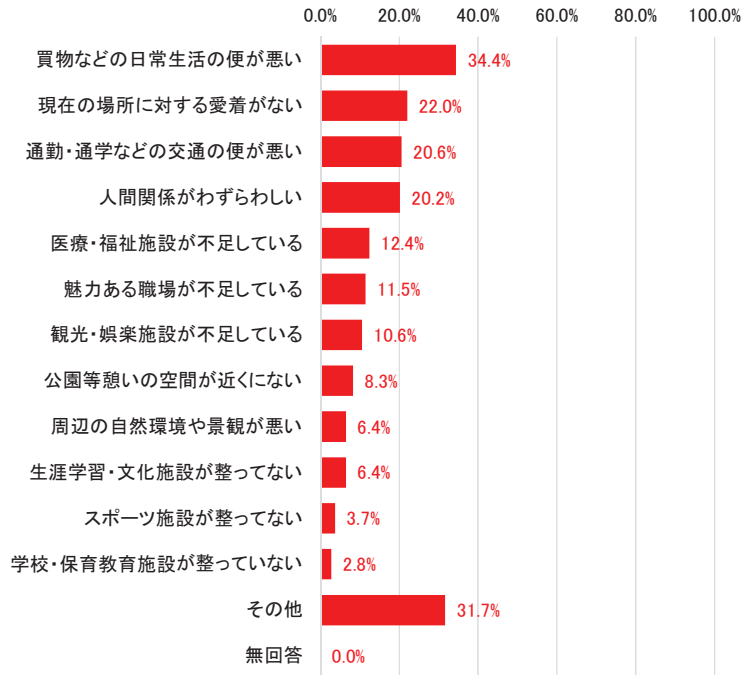
年代別では、50代以上で「医療・福祉施設が不足している」との回答が比較的多く、**高齢世代などが安心して暮らせる医療・福祉施設の充実**が求められます。また、地区別で住みやすさが低く、転居意向が多い松倉、上中島では「買物などの日常生活の便が悪い」との回答が最も多くなっています（松倉では「人間関係がわずらわしい」も同率上位）。

市内の他の地域に転居したい理由として、「買物などの日常生活の便が悪い」との回答が34.7%と最も多くなっています。また、市外に転居したい理由として、「現在の場所に対する愛着がない」が26.5%と多く、次いで「人間関係がわずらわしい」が20.5%と続いています。（※「その他」を除く）

No	回答	回答数	回答割合
1	現在の場所に対する愛着がない	48	22.0%
2	通勤・通学などの交通の便が悪い	45	20.6%
3	周辺の自然環境や景観が悪い	14	6.4%
4	公園等憩いの空間が近くにない	18	8.3%
5	医療・福祉施設が不足している	27	12.4%
6	学校・保育教育施設が整っていない	6	2.8%
7	生涯学習・文化施設が整っていない	14	6.4%
8	スポーツ施設が整っていない	8	3.7%
9	観光・娯楽施設が不足している	23	10.6%
10	買物などの日常生活の便が悪い	75	34.4%
11	魅力ある職場が不足している	25	11.5%
12	人間関係がわずらわしい	44	20.2%
13	その他	69	31.7%
無回答		0	0.0%
回答者数		218	-

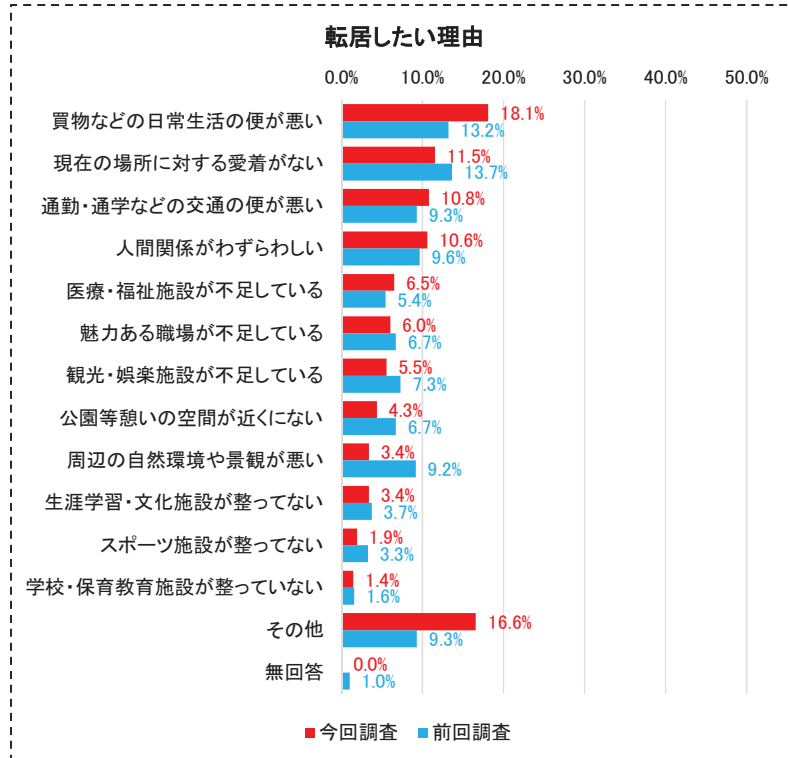
注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。

### 転居したい理由



### 〔参考〕 前回調査との比較

今回と前回調査では、選択数が異なるため、母数を回答数として比較



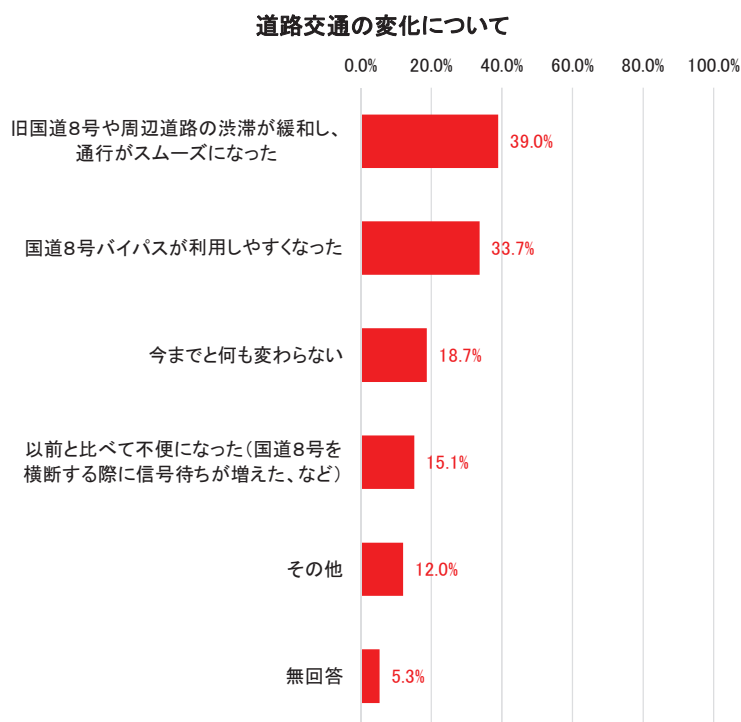
問10 平成27年3月、国道8号バイパスが全線開通しましたが、道路交通の変化をどのように感じますか。次の中からすべて選んで○をつけてください。

「旧国道8号や周辺道路の渋滞が緩和し、通行がスムーズになった」が39.0%と最も多く、次いで「国道8号バイパスが利用しやすくなった」が33.7%、「今までと何も変わらない」が18.7%と続きます。

「旧国道8号や周辺道路の渋滞が緩和し、通行がスムーズになった」、「国道8号バイパスが利用しやすくなった」との**肯定的な回答が7割を超えています**。一方、「今までと何も変わらない」も約2割見られます。

No	回答	回答数	回答割合
1	旧国道8号や周辺道路の渋滞が緩和し、通行がスムーズになった	593	39.0%
2	国道8号バイパスが利用しやすくなった	513	33.7%
3	以前と比べて不便になった(国道8号を横断する際に信号待ちが増えた、など)	230	15.1%
4	今までと何も変わらない	285	18.7%
5	その他	183	12.0%
無回答		81	5.3%
回答者数		1,522	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。



(3) 魚津市の今後のまちづくりについて

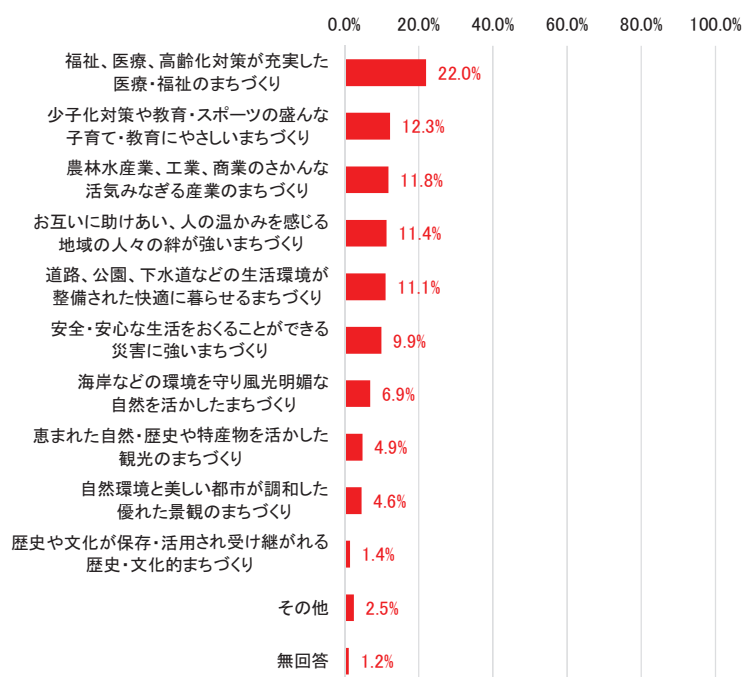
問11 将来の魚津市は、どのようなテーマに基づいたまちづくりがもっとも望ましいと  
考えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から1つ選んで○をつけてください。

「福祉、医療、高齢化対策が充実した医療・福祉のまちづくり」が22.0%と最も多く、  
次いで「少子化対策や教育・スポーツの盛んな子育て・教育にやさしいまちづくり」が  
12.3%、「農林水産業、工業、商業のさかんな活気みなぎる産業のまちづくり」が11.8%  
と続いており、**医療・福祉、子育て・教育、産業を重視したまちづくり**が求められていま  
す。

年代別では、30代以下で「道路、公園、下水道などの生活環境が整備された快適に暮ら  
せるまちづくり」との回答が比較的多く、**若者世代の定住意識を高める住環境の整備**も求  
められます。

No	回答	回答数	回答割合
1	海岸などの環境を守り風光明媚な自然を活かしたまちづくり	105	6.9%
2	歴史や文化が保存・活用され受け継がれる歴史・文化的まちづくり	22	1.4%
3	道路、公園、下水道などの生活環境が整備された快適に暮らせるまちづくり	169	11.1%
4	農林水産業、工業、商業のさかんな活気みなぎる産業のまちづくり	180	11.8%
5	福祉、医療、高齢化対策が充実した医療・福祉のまちづくり	335	22.0%
6	少子化対策や教育・スポーツの盛んな子育て・教育にやさしいまちづくり	187	12.3%
7	恵まれた自然・歴史や特産物を活かした観光のまちづくり	74	4.9%
8	安全・安心な生活をおくることができる災害に強いまちづくり	151	9.9%
9	自然環境と美しい都市が調和した優れた景観のまちづくり	70	4.6%
10	お互いに助けあい、人の温かみを感じる地域の人々の絆が強いまちづくり	173	11.4%
11	その他	38	2.5%
無回答		18	1.2%
回答者数		1,522	100%

まちづくりのテーマ



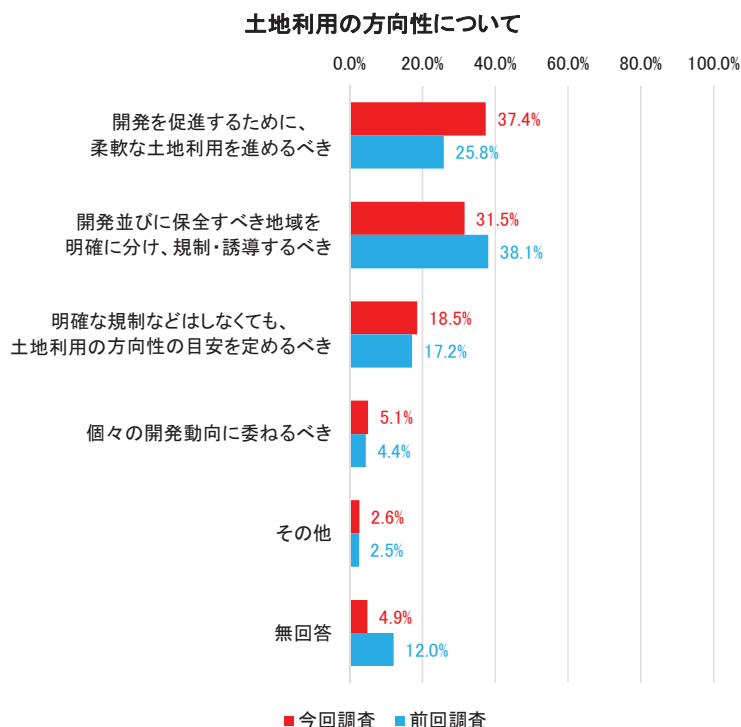
問12 土地利用について、どのような方向性が望ましいと考えますか。次の中から 1つ選んで○をつけてください。

今回調査では、「開発を促進するために、柔軟な土地利用を進めるべき」が 37.4%と最も多く、次いで「開発並びに保全すべき地域を明確に分け、規制・誘導するべき」が 31.5%と続いています。

前回調査では、「開発並びに保全すべき地域を明確に分け、規制・誘導するべき」が 38.1%と最も多く、次いで「開発を促進するために、柔軟な土地利用を進めるべき」が 25.8%となっていました。

また、今回調査では、前回より「開発を促進するために、柔軟な土地利用を進めるべき」が 11.6 ポイント増加しており、**開発の促進を容認する傾向が高まっている**ことがうかがえます。

No	回答	回答数	回答割合
1	開発を促進するために、柔軟な土地利用を進めるべき	569	37.4%
2	開発並びに保全すべき地域を明確に分け、規制・誘導するべき	480	31.5%
3	明確な規制などはしなくても、土地利用の方向性の目安を定めるべき	282	18.5%
4	個々の開発動向に委ねるべき	77	5.1%
5	その他	40	2.6%
無回答		74	4.9%
回答者数		1,522	100%

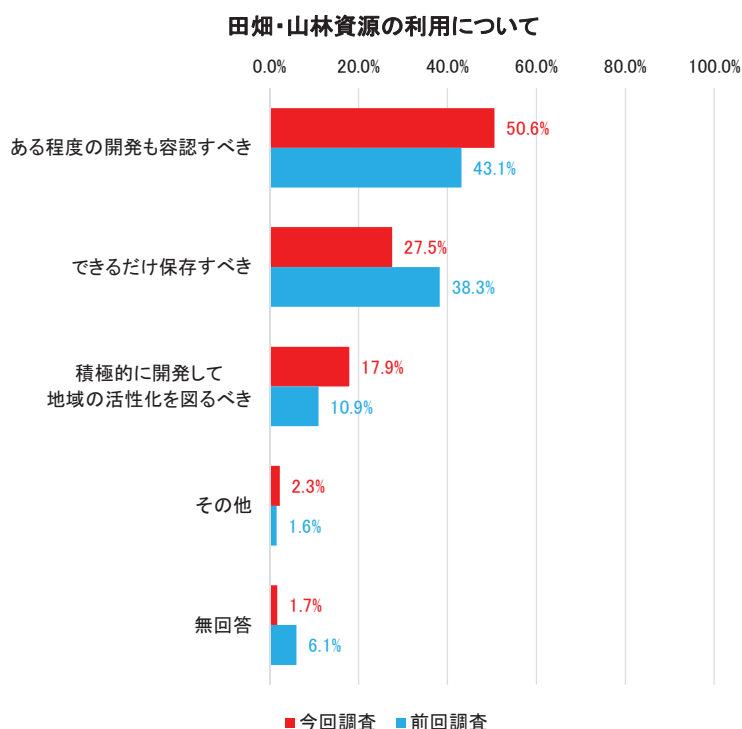


問13 田畑・山林資源の利用について、どのような方向性が望ましいと考えますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

今回調査では、「ある程度の開発も容認すべき」が50.6%と最も多く、次いで「できるだけ保存すべき」が27.5%、「積極的に開発して地域の活性化を図るべき」が17.9%と続いています。

また、今回調査では、前回より「ある程度の開発も容認すべき」が7.5ポイント増加、「積極的に開発して地域の活性化を図るべき」が7.0ポイント増加し、「できるだけ保存すべき」が10.8ポイント減少しており、**保全よりも開発を容認する傾向が高まっている**ことがうかがえます。

No	回答	回答数	回答割合
1	できるだけ保存すべき	419	27.5%
2	ある程度の開発も容認すべき	770	50.6%
3	積極的に開発して地域の活性化を図るべき	272	17.9%
4	その他	35	2.3%
	無回答	26	1.7%
	回答者数	1,522	100%



問14 魚津市の保全・創造すべき景観として重要な要素は何ですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

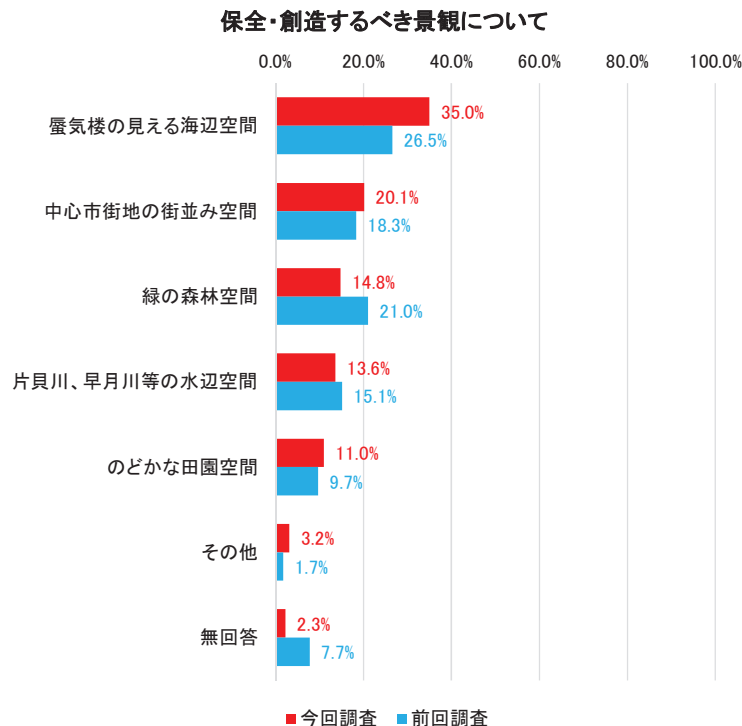
今回調査では、「蟹気楼の見える海辺空間」が35.0%と最も多く、次いで「中心市街地の街並み空間」が20.1%、「緑の森林空間」が14.8%と続いています。

前回調査では、「蟹気楼の見える海辺空間」が26.5%と最も多く、次いで「緑の森林空間」が21.0%、「中心市街地の街並み空間」が18.3%となっていました。

また、今回調査では、前回より「蟹気楼の見える海辺空間」が8.5ポイント増加、「中心市街地の街並み空間」が1.8ポイント増加しており、**海辺空間や中心市街地の街並み景観の保全・創造**が求められています。

地区別では、松倉、西布施で「緑の森林空間」、片貝で「片貝川、早月川等の水辺空間」との回答が最も多く、**各地区の特性に応じた景観保全・創造**も求められます。

No	回答	回答数	回答割合
1	緑の森林空間	225	14.8%
2	片貝川、早月川等の水辺空間	207	13.6%
3	のどかな田園空間	167	11.0%
4	中心市街地の街並み空間	306	20.1%
5	蟹気楼の見える海辺空間	533	35.0%
6	その他	48	3.2%
無回答		36	2.3%
回答者数		1,522	100%





問15 魚津市をもっと住みよいところにするために、どのような生活基盤の整備が必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

今回調査では、「生活道路網の整備」が35.3%と最も多く、次いで「公共交通対策」が34.4%、「市街地の再開発の促進」が29.4%と続いています。

前回調査では、「生活道路網の整備」が最上位であり、「交通安全対策」、「市街地の再開発の促進」と続いていました。

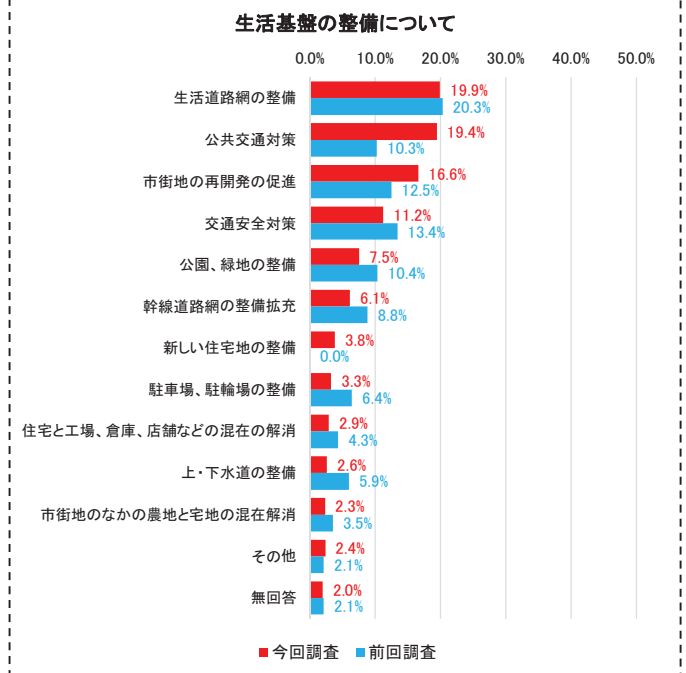
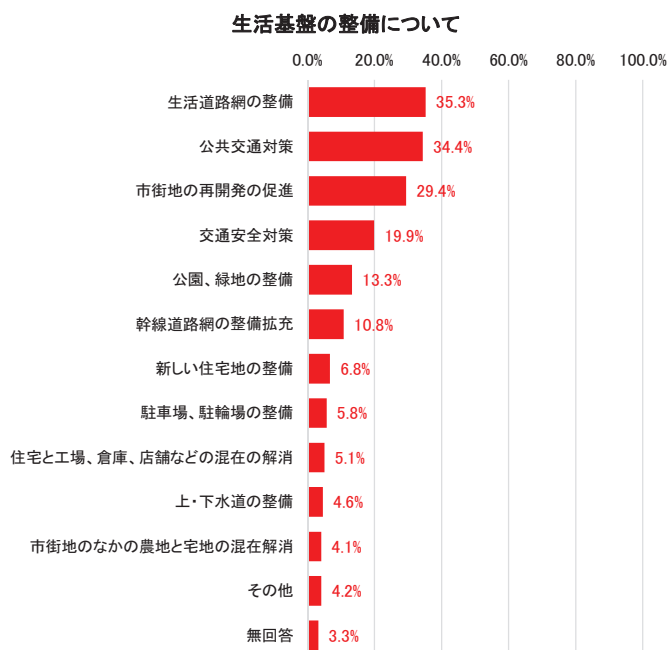
また、今回調査では、前回より「公共交通対策」、「市街地の再開発の促進」のポイントが増加しており、生活道路網の整備はもとより、**公共交通対策や市街地の再開発への関心が高くなっています。**

No	回答	回答数	回答割合
1	幹線道路網の整備拡充	165	10.8%
2	生活道路網の整備（狭小道路の拡幅など）	537	35.3%
3	公共交通対策（鉄道の利便性、バス路線、便数の増加など）	524	34.4%
4	交通安全対策（ガードレール、カーブミラーの設置、歩道の整備など）	303	19.9%
5	上・下水道の整備	70	4.6%
6	公園、緑地の整備	203	13.3%
7	駐車場、駐輪場の整備	88	5.8%
8	住宅と工場、倉庫、店舗などの混在の解消	78	5.1%
9	市街地のなかの農地と宅地の混在解消	63	4.1%
10	新しい住宅地の整備	103	6.8%
11	市街地の再開発の促進	448	29.4%
12	その他	64	4.2%
無回答		50	3.3%
回答者数		1,522	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。

【参考】前回調査との比較

今回と前回調査では、選択数が異なるため、母数を回答数として比較





問16 魚津市の住宅地のあり方について、あなたの考えにもっとも近いものを、次の中から1つ選んで○をつけてください。

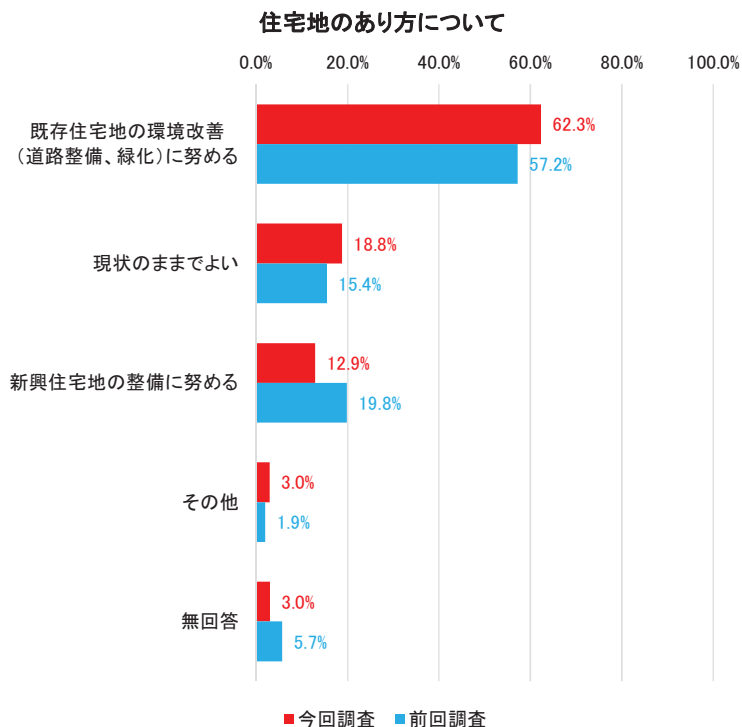
今回調査では、「既存住宅地の環境改善（道路整備、緑化）に努める」が62.3%と最も多く、次いで「現状のままでよい」が18.8%、「新興住宅地の整備に努める」が12.9%と続いています。

前回調査では、「既存住宅地の環境改善（道路整備、緑化）に努める」が57.2%と最も多く、次いで「新興住宅地の整備に努める」が19.8%、「現状のままでよい」が15.4%となっていました。

また、今回調査では、前回より「既存住宅地の環境改善（道路整備、緑化）に努める」が5.1ポイント増加、「現状のままでよい」が3.4ポイント増加しており、**新たな住宅地整備より既存住宅地の環境改善などへの関心が高くなっています。**

地区別では、滑川市に隣接し西魚津駅が位置する下中島で「新興住宅地の整備に努める」との回答が比較的多くなっています。

No	回答	回答数	回答割合
1	既存住宅地の環境改善（道路整備、緑化）に努める	948	62.3%
2	新興住宅地の整備に努める	196	12.9%
3	現状のままでよい	286	18.8%
4	その他	45	3.0%
	無回答	47	3.0%
	回答者数	1,522	100%

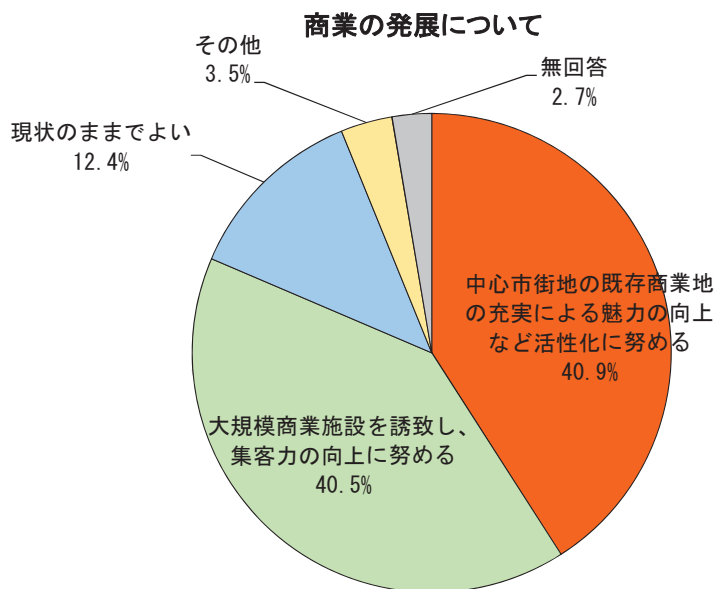


問17 今後、魚津市でさらに商業を発展させるため、あなたの考えにもっとも近いものを、次の中から1つ選んで○をつけてください。

「中心市街地の既存商業地の充実による魅力の向上など活性化に努める」が40.9%と最も多く、次いで「大規模商業施設を誘致し、集客力の向上に努める」が40.5%、「現状のままでよい」が12.4%と続いており、**既存商店街の充実と大規模商業施設の誘致が拮抗して多く、両者のバランスを考えた商業の発展**が望まれています。

なお、年代別では、40代以下で大規模商業施設の誘致との回答が比較的多く、60代以上で既存商店街の充実との回答が比較的多くなっており、世代によって普段利用する商業施設が異なることが影響しているものと考えられます。

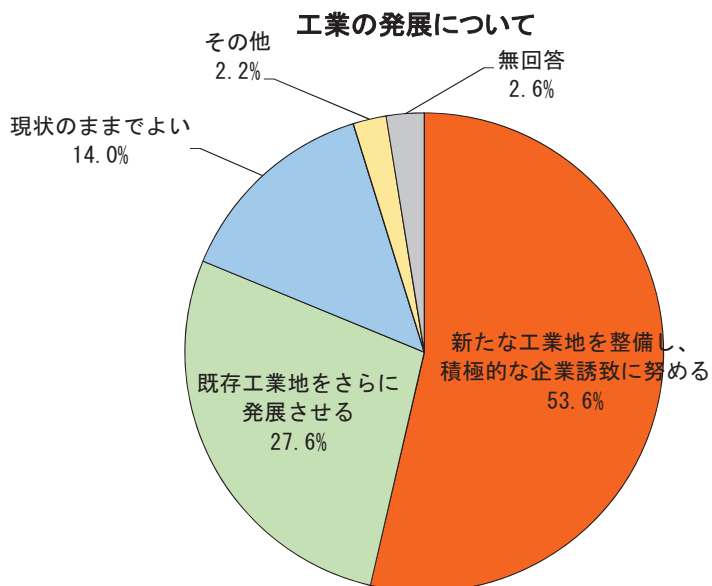
No	回答	回答数	回答割合
1	中心市街地の既存商業地の充実による魅力の向上など活性化に努める	622	40.9%
2	大規模商業施設を誘致し、集客力の向上に努める	616	40.5%
3	現状のままでよい	189	12.4%
4	その他	53	3.5%
無回答		42	2.7%
回答者数		1,522	100%



問18 今後、魚津市でさらに工業を発展させるため、あなたの考えにもっとも近いものを、次の中から1つ選んで○をつけてください。

「新たな工業地を整備し、積極的な企業誘致に努める」が53.6%と最も多く、次いで「既存工業地をさらに発展させる」が27.6%、「現状のままでよい」が14.0%と続いており、**積極的な企業誘致**が求められています。一方、既存工業地の発展についても約3割の回答が見られ、**既存工業の発展に向けた底上げ**も必要です。

No	回答	回答数	回答割合
1	既存工業地をさらに発展させる	420	27.6%
2	新たな工業地を整備し、積極的な企業誘致に努める	816	53.6%
3	現状のままでよい	213	14.0%
4	その他	34	2.2%
無回答		39	2.6%
回答者数		1,522	100%

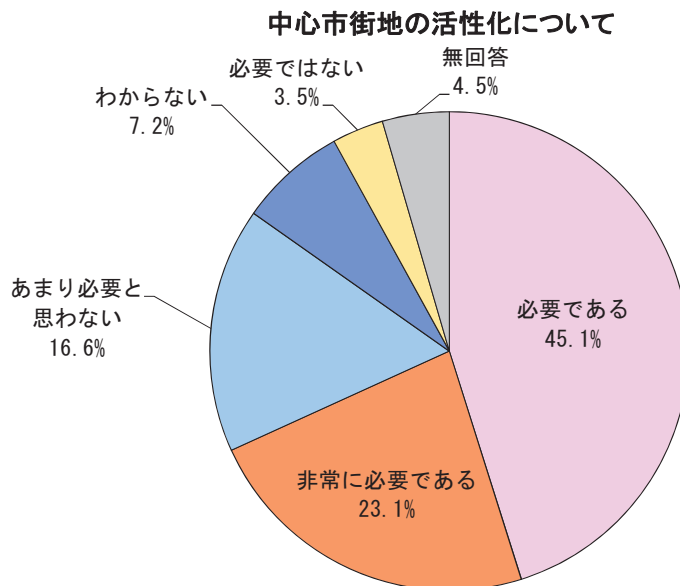


問19 中心市街地の衰退が懸念されるなか、中心市街地の活性化について、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

「必要である」が45.1%と最も多く、次いで「非常に必要である」が23.1%、「あまり必要と思わない」が16.6%と続きます。

「必要である」と「非常に必要である」の合計が約7割を占めており、**中心市街地の活性化の必要性が高くなっています。**

No	回答	回答数	回答割合
1	非常に必要である	351	23.1%
2	必要である	686	45.1%
3	あまり必要と思わない	252	16.6%
4	必要ではない	53	3.5%
5	わからない	110	7.2%
無回答		70	4.5%
回答者数		1,522	100%



問19-1 問19で1、2と答えた方におたずねします。中心市街地を活性化するために重視することは何ですか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

前回調査では、「駐車場・駐輪場の整備」が最上位であり、「個性的な専門店街の形成」、「美しい中心市街地の景観形成」と続いていました。

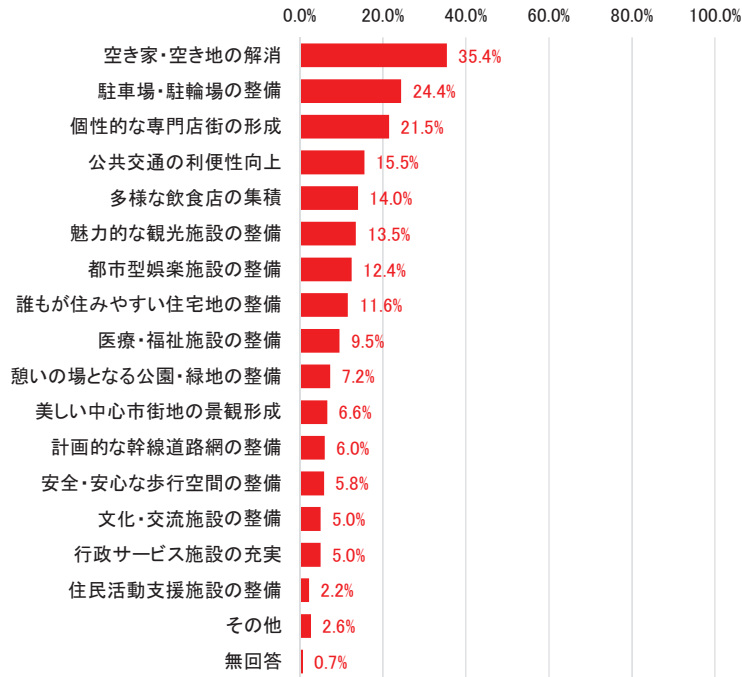
今回調査では、「空き家・空き地の解消」が35.4%と最も多く、次いで「駐車場・駐輪場の整備」が24.4%、「個性的な専門店街の形成」が21.5%と続いており、中心市街地の活性化には、「空き家・空き地の解消」、「駐車場・駐輪場の整備」、「個性的な専門店街の形成」などの対策が求められています。

年代別では、40代以下で「多様な飲食店の集積」、「都市型娯楽施設の整備」との回答が比較的多く、**若者世代を意識した中心市街地の活性化対策**も求められます。

No	回答	回答数	回答割合
1	計画的な幹線道路網の整備	62	6.0%
2	安全・安心な歩行空間の整備	60	5.8%
3	公共交通の利便性向上	161	15.5%
4	駐車場・駐輪場の整備	253	24.4%
5	誰もが住みやすい住宅地の整備	120	11.6%
6	空き家・空き地の解消	367	35.4%
7	憩いの場となる公園・緑地の整備	75	7.2%
8	文化・交流施設の整備	52	5.0%
9	医療・福祉施設の整備	99	9.5%
10	行政サービス施設の充実	52	5.0%
11	個性的な専門店街の形成	223	21.5%
12	多様な飲食店の集積	145	14.0%
13	魅力的な観光施設の整備	140	13.5%
14	都市型娯楽施設の整備	129	12.4%
15	住民活動支援施設の整備	23	2.2%
16	美しい中心市街地の景観形成	68	6.6%
17	その他	27	2.6%
無回答		7	0.7%
回答者数		1,037	-

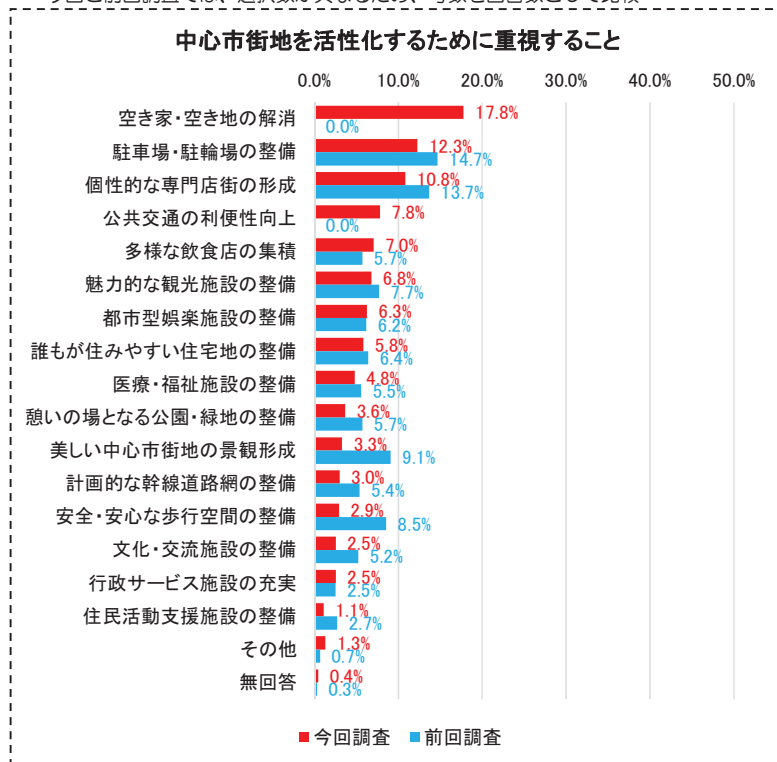
注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。

### 中心市街地を活性化するために重視すること



### 〔参考〕 前回調査との比較

今回と前回調査では、選択数が異なるため、母数を回答数として比較



問20 北陸新幹線の開業などに伴い、公共交通の利用状況は変化していくと考えられますが、今後、どのような取り組みが重要だと思いますか。あなたの考えに近いものを、次の中から2つまで選んで○をつけてください。

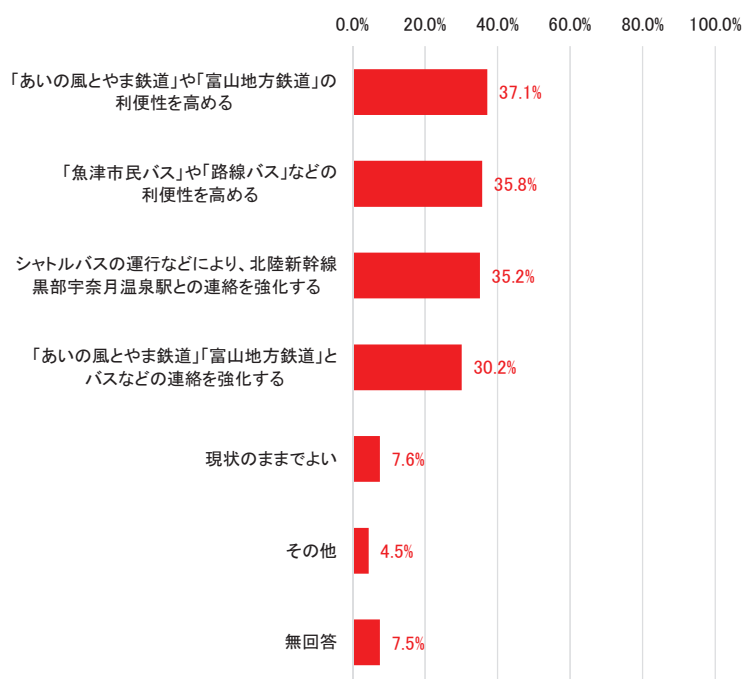
「「あいの風とやま鉄道」や「富山地方鉄道」の利便性を高める」が37.1%と最も多く、次いで「「魚津市民バス」や「路線バス」などの利便性を高める」が35.8%、「シャトルバスの運行などにより、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅との連絡を強化する」が35.2%と続いており、**鉄道や魚津市民バス等の利便性向上**が求められています。

地区別では、本市の中心市街地から離れ滑川市及び黒部市に隣接した上中島、松倉、経田、天神、西布施で「「魚津市民バス」や「路線バス」などの利便性を高める」との回答が最も多く、**中心市街地から離れた地区の更なるバスの利便性向上**が求められます。

No	回答	回答数	回答割合
1	「魚津市民バス」や「路線バス」などの利便性を高める	545	35.8%
2	「あいの風とやま鉄道」や「富山地方鉄道」の利便性を高める	565	37.1%
3	「あいの風とやま鉄道」「富山地方鉄道」とバスなどの連絡を強化する	459	30.2%
4	シャトルバスの運行などにより、北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅との連絡を強化する	535	35.2%
5	現状のままでよい	115	7.6%
6	その他	68	4.5%
無回答		114	7.5%
回答者数		1,522	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とまらない。

今後の公共交通の取り組みについて

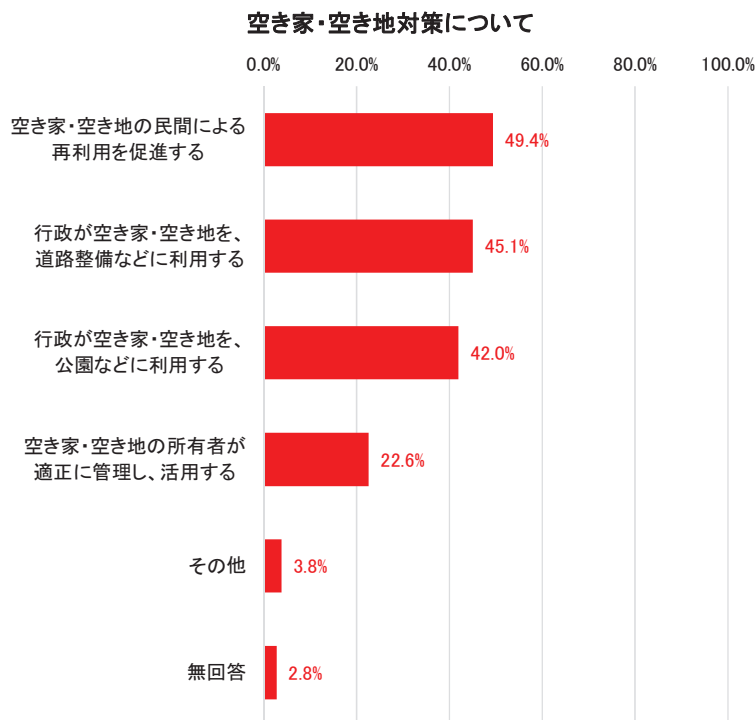


問21 空き家・空き地対策について、どのような取り組みが重要だと思いますか。あなたの考えに近いものを、次の中から**2つまで**選んで○をつけてください。

「空き家・空き地の民間による再利用を促進する」が49.4%と最も多く、次いで「行政が空き家・空き地を、道路整備など（狭い道路の拡幅や車の待避所の確保など）に利用する」が45.1%、「行政が空き家・空き地を、公園など（市民のオープンスペースとして開放するなど）に利用する」が42.0%と続いており、**空き家・空き地の所有者による適正管理・活用ではなく、民間による再利用や行政による道路整備・公園などに利用**することが求められています。

No	回答	回答数	回答割合
1	空き家・空き地の所有者が適正に管理し、活用する	344	22.6%
2	空き家・空き地の民間による再利用を促進する	752	49.4%
3	行政が空き家・空き地を、道路整備など（狭い道路の拡幅や車の待避所の確保など）に利用する	686	45.1%
4	行政が空き家・空き地を、公園など（市民のオープンスペースとして開放するなど）に利用する	639	42.0%
5	その他	58	3.8%
無回答		42	2.8%
回答者数		1,522	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。





問22 災害などに強いまちづくりを進めていくために、どのような取り組みが重要だと思いますか。優先すべきものを、次の中から2つまで選んで○をつけてください。

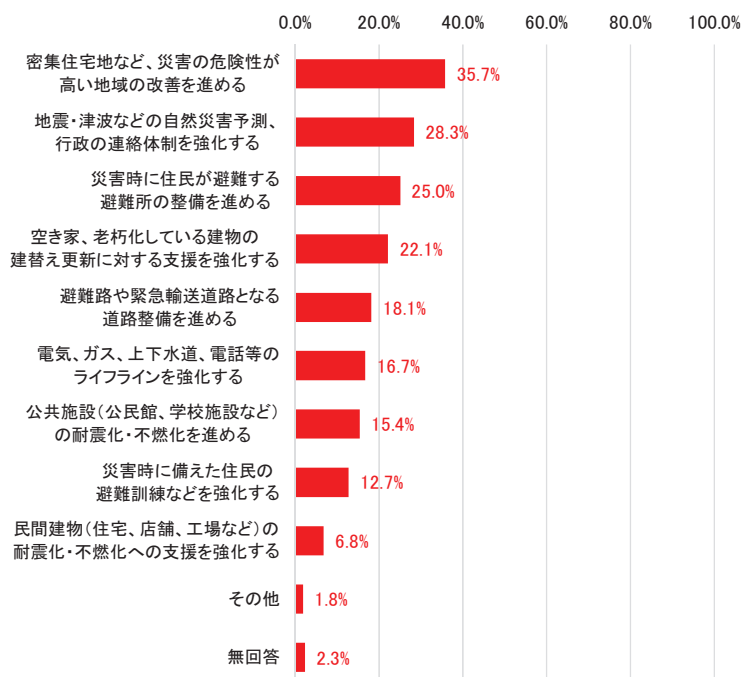
「密集住宅地など、災害の危険性が高い地域の改善を進める」が35.7%と最も多く、次いで「地震・津波などの自然災害予測、行政の連絡体制を強化する」が28.3%、「災害時に住民が避難する避難所の整備を進める」が25.0%と続いており、**密集住宅地の解消、自然災害予測・行政の連絡体制強化、避難所の整備**などが求められています。

地区別では、下中島で「地震・津波などの自然災害予測、行政の連絡体制を強化する」、片貝で「避難路や緊急輸送道路となる道路整備を進める」、天神で「災害時に住民が避難する避難所の整備を進める」、西布施で「空き家、老朽化している建物の建替え更新に対する支援を強化する」との回答が最も多く、**各地区の特性に応じた災害対策**が求められます。

No	回答	回答数	回答割合
1	密集住宅地など、災害の危険性が高い地域の改善を進める	544	35.7%
2	公共施設（公民館、学校施設など）の耐震化・不燃化を進める	234	15.4%
3	民間建物（住宅、店舗、工場など）の耐震化・不燃化への支援を強化する	103	6.8%
4	空き家、老朽化している建物の建替え更新に対する支援を強化する	337	22.1%
5	避難路や緊急輸送道路となる道路整備を進める	276	18.1%
6	災害時に住民が避難する避難所の整備を進める	381	25.0%
7	電気、ガス、上下水道、電話等のライフラインを強化する	254	16.7%
8	地震・津波などの自然災害予測、行政の連絡体制を強化する	431	28.3%
9	災害時に備えた住民の避難訓練などを強化する	193	12.7%
10	その他	28	1.8%
無回答		35	2.3%
回答者数		1,522	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とまらない。

災害などに強いまちづくりを進めるための取り組みについて



問23 まちづくりの住民参加について、あなたはどのような活動に参加できますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

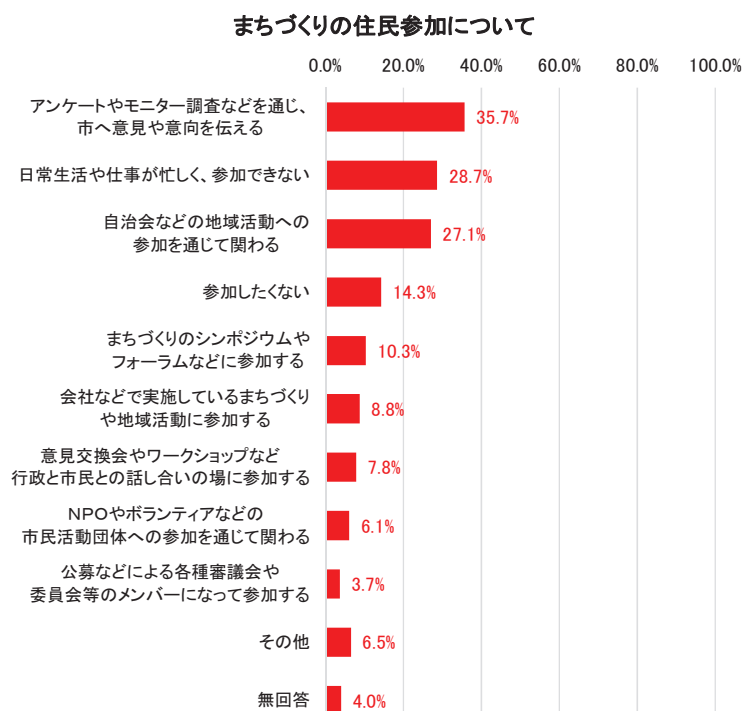
「アンケートやモニター調査などを通じ、市へ意見や意向を伝える」が35.7%と最も多く、次いで「日常生活や仕事が忙しく、参加できない」が28.7%、「自治会などの地域活動への参加を通じて関わる」が27.1%と続きます。

「参加したくない」（14.3%）は少ないものの、**日常生活や仕事の多忙から、自治会などの身近な活動やアンケートなどの取り組みやすい参加に限定的であり、まちづくりへの参加には消極的なことがうかがえます。**

年代別では、地域との関わりが深い60代以上で「自治会などの地域活動への参加を通じて関わる」との回答が比較的多く、働き盛りの40代以下で「会社などで実施しているまちづくりや地域活動に参加する」との回答が比較的多くなっているとともに、40代では「日常生活や仕事が忙しく、参加できない」との回答も比較的多く、**年代に応じたまちづくりへの参加手法を提案していくことも求められます。**

No	回答	回答数	回答割合
1	公募などによる各種審議会や委員会等のメンバーになって参加する	56	3.7%
2	意見交換会やワークショップなど行政と市民との話し合いの場に参加する	119	7.8%
3	自治会などの地域活動への参加を通じて関わる	412	27.1%
4	NPOやボランティアなどの市民活動団体への参加を通じて関わる	93	6.1%
5	アンケートやモニター調査などを通じ、市へ意見や意向を伝える	543	35.7%
6	まちづくりのシンポジウムやフォーラムなどに参加する	157	10.3%
7	会社などで実施しているまちづくりや地域活動に参加する	134	8.8%
8	日常生活や仕事が忙しく、参加できない	437	28.7%
9	参加したくない	217	14.3%
10	その他	99	6.5%
無回答		61	4.0%
回答者数		1,522	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。



問24 魚津市に人口を定着させるためには何が必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○をつけてください。

「企業誘致を積極的に行い、雇用の確保を図る」が37.3%と最も多く、次いで「安心して子どもを産み育てられる環境をつくる」が35.7%、「若者やファミリー層などに安い住宅を供給する」が23.3%と続いており、**雇用の確保、子育て環境、若者などへの住宅供給などが必要**と考えられています。

なお、年代別では、30代以下で「安心して子どもを産み育てられる環境をつくる」との回答が比較的多くなっています。

No	回答	回答数	回答割合
1	農林水産業を盛んにする	69	4.5%
2	観光都市としての魅力を高め、誘客力を増大させる	171	11.2%
3	商業都市としての魅力を高め、買い物の利便性を高める	258	17.0%
4	企業誘致を積極的に行い、雇用の確保を図る	567	37.3%
5	若者やファミリー層などに安い住宅を供給する	354	23.3%
6	高齢者などが安心して暮らすことができるよう福祉を充実させる	342	22.5%
7	安心して子どもを産み育てられる環境をつくる	543	35.7%
8	優秀な人材を輩出できるように、教育分野の充実を図る	72	4.7%
9	歴史や自然を活かした体験型観光、グリーンツーリズムを充実させる	44	2.9%
10	森林や山などを活かした健康づくりやスポーツ・レクリエーション環境を充実させる	82	5.4%
11	犯罪や事故の少ない治安の良い環境をつくる	197	12.9%
12	近隣市町村との合併を進める	81	5.3%
13	特に必要ない	23	1.5%
14	その他	42	2.8%
無回答		34	2.2%
回答者数		1,522	-

注：複数回答のため、合計は必ずしも100%とならない。

